

科目名	教育学		単位数	1
	講師	齋藤 博志 小森 うめの	時間数	30
<p>科目目的 : 教育の視点から人間理解の基礎とし、生涯学習に向けて自己教育力を学ぶ。</p> <p>科目目標 : 1. 現代社会において教育活動の営みを理解できる。 2. 人間の可能性を導き出す意義・方法を学び看護における教育活動に活用できる。 3. 学習の本質を理解し、自己教育力を身につける。</p>				
講義回数	学 習 内 容			
1回	1. 教育とは	1) 教育の目的		
2回	2. 人間の生成の環境の影響	2) 教育の働きかけ		
3回～ 4回	3. 評価について	1) 自然環境 2) 文化環境 3) 人間環境		
5回	4. 教育における教師と学生の立場について	1) 評価とは 2) 評価する理由 3) 目標と評価の関係 4) 評価の種類 5) 行動目標と評価		
6回	5. 学校教育について	1) 教育について 2) 教師と学生の立場の違いについて		
7回	6. 教育の歴史と制度の変遷について	1) 法的根拠 2) 教育の限界 3) マインドマップ「教育」から「看護」へ 教育の歴史と制度の変遷について		
8回	7. これからの学校の在り方と家庭・地域			
9回	8. 今日の教育的課題と学校・教師			
10回	9. 令和の日本型学校教育と生涯学習			
11～14回	8. カンファレンス	1) カンファレンスとは 2) カンファレンスの目的と要素 3) カンファレンスのすすめ方 4) カンファレンスをやってみよう (GW) 5) 発表		
評価	筆記試験 課題レポート			
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 教育学 (医学書院)			
備考				

科目名  <p style="text-align: center;">家族社会学</p>	講 師  <p style="text-align: center;">齋藤 正樹</p>		単位数 1	
		時間数 30		
<p>科目目的：社会における家族の機能・役割を学び、現代的問題について学ぶ。</p> <p>科目目標：1. 介護、就労など看護・医療の持つ問題について理解できる。 2. 個人を支える家族の役割について理解できる。</p>				
講義回数	<p style="text-align: center;">学 習 内 容</p>			
14回	1. 家族とは  2. 夫と妻のパートナーシップ (夫婦関係論)  3. 親と子と孫の絆(親子関係論)  4. 家族と社会  5. 患者家族と在宅ケア  6. 家族支援のアプローチ	1) 家族をめぐる基本概念   2) 家族の類型   3) 家族の変貌 4) わが国における家族の変貌   5) 家族看護の視点  1) 配偶者選択   2) 親密性と性愛の心理 3) 夫と妻の役割と常識(ジェンダー論の視点) 4) 夫と妻の葛藤と離婚  1) ペアレンティングとは   2) 母性論   3) 父性論 4) 祖父母の役割  1) 家族の生活文化   2) 地域と家族 3) 職場と家族   4) 高齢社会と少子化  1) 患者家族の臨床心理 2) 家族の介護機能の揺らぎと支援 3) 在宅ケアと家族のストレスマネジメント 4) 患者家族への看護ケア  1) 家族システム理論   2) 家族発達段階論 3) 家族への心理教育的方法 4) 家族への心理的援助の方法		
評価	筆記試験 課題レポート			
テキスト				
備考				

科目名	心理学	講師	高間 佳奈枝	単位数	1
				時間数	30
<p>科目目的：人間の心や行動を多面的に理解し、看護に必要な知識を学ぶ。</p> <p>科目目標：心理学の概念、人間の心の働きの基礎について理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	序 心理学を学ぶ	1)心理学の対象 2)心理学の歴史と領域 3)心理学の研究方法 4)心理学と看護職 5)心理学と現代社会			
2回	1. 心理学の基礎知識 個人の心理	1)感覚・知覚 2)記憶(しくみ、日常記憶、高齢者の記憶) 3)感情・動機(感情の情緒、動機・欲求) 4)性格・知能(研究方法と理論、パーソナリティーの障害と成熟)			
3回	発達心理学	1)乳幼児期・児童期 2)青年期 3)成人期 4)老年期			
4回	集団の心理	1)社会的認知 2)社会的態度 3)社会的スキル 4)集団の心理			
5回	2. 医療場面と人間理解 健康の心理	1)患者の理解 2)看護職者の理解			
6回	臨床心理学	1)臨床心理学の基礎 2)心理的援助の領域と方法			
7回	カウンセリングと心理療法				
評価	筆記試験				
テキスト	看護学生のための心理学(医学書院)				
備考					

科目名	カウンセリング	講師	新屋 恭子	単位数	1
				時間数	15
<p>科目目的 : 様々な場面でカウンセリングスキルを活用する方法と意義について学ぶ。</p> <p>科目目標 : 自己をふりかえり、自己の課題や問題解決の方法を理解する。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	カウンセリング概論	カウンセリングとは何か 目的・対象・領域・方法 等			
2回	カウンセリング理論	カウンセリング療法の背景となる理論			
3回	カウンセリング技法	1) カウンセリングの基本姿勢			
4回		2) カウンセリングの言語的技法 カウンセリングの非言語的技法			
5回		3) カウンセリング対話上の諸問題への対処法 4) 問題への対処法 5) カウンセリングの留意点			
6回	演習	ロールプレイ			
7回	医療現場とカウンセリング	看護にいかすカウンセリング 自己理解と他者理解			
評価	筆記試験				
テキスト	看護学生のための心理学(医学書院)				
備考					

科目名  人間関係論	講師  憶 あず紗	単位数 1 時間数 30
<p>科目目的：人間関係の基本を学び、看護実践における人間関係成立に必要な知識を学ぶ。</p> <p>科目目標：1. 人間関係の意義、個人と社会的相互作用が理解できる。 2. カウンセリング理論の基礎が理解できる。 3. 看護における人間関係を成立させるためのコミュニケーションが理解できる。</p>		
講義回数	学 習 内 容	
14回	1. 人間関係の理解  2. 社会的相互作用と社会的役割  3. カウンセリングの基礎  4. 看護における人間関係を成立させるためのコミュニケーション  5. 人間関係の向上への技法	1) 人間関係とは 2) 人間関係の基本的意義 1) 人間関係における社会的相互作用 (1) 傾聴 (2) アイデンティティー (3) リーダーシップ 2) 社会的役割 1) カウンセリングとは 2) 理論の特質 来談者中心療法、精神分析療法、交流分析療法 3) カウンセリングの技法 (1) 傾聴 (2) 共感的理解 (3) 心理テスト 1) コミュニケーション技法 2) 援助的コミュニケーション 3) 看護における人間関係 1) 体験による学習効果 2) 構成的な体験学習 3) 感情表現
評価	筆記試験 課題レポート	
テキスト		
備考		



科目名  <p style="text-align: center;">医用英語</p>	講 師  <p style="text-align: center;">ミラー 京美</p>	単位数  時間数	1  30
<p>科目目的 : 医療・看護場面で使用する専門用語や表現を理解する。</p> <p>科目目標 : 1. 診療記録・看護記録に使われる用語を理解できる。          2. 主に看護師と患者との間で実際に交わされる 基本的な英会話を理解する。</p>			
講義回数	<p style="text-align: center;">学 習 内 容</p>		
1～14回	Unit 1 Unit 2 Unit 3 Unit 4 Unit 5 Unit 6  Appendix	EMERGENCY DEPARTMENT / 救急外来 MEETING THE PATIENT / 患者との顔合わせ GENERAL CARE OF PATIENTS / 入院患者の全般的ケア OPERATION ORIENTATION / 手術のためのオリエンテーション POSTOPERATIVE CARE / 術後のケア PATIENT DISCHARGE / 退院準備  Parts of a human body / 人体模式図(体の部位名) Human organs / 人体模式図(器官名) Skeleton / 骨格(骨の名前) List of Professionals and Departments in Hospital / 診療科や医療職などに関する単語 Measurement / 度量衡換算表	
評価	筆記試験・Hearing		
テキスト	ESSENTIAL ENGLISH for NURSES 看護英会話標準テキスト (日総研)		
備考			

科目名  健康とスポーツ	講 師	田村 由利子 奥村 有香理	単位数	1
			時間数	30
<p>科目目的：心身が健全であることの必要性や集団行動における役割と態度を学ぶ。</p> <p>科目目標：1. 集団で目標を達成するために必要な、個人の責任、協調性、指導性を修得できる。 2. 健康や体力の保持増進に必要な知識と技能を修得できる。</p>				
講義回数	学 習 内 容			
1～5回	1. 健康と運動	1)実技 (1) 球技 (2)体力測定		
6～9回	2. レクリエーションと集団行動	1)レクリエーション (1)レクリエーションの意義 (2)集団行動とレクリエーション (3)レクリエーションの実際		
10～14回	3. ヨガ  4. アロマと癒し	ヨガ体験  アロマセラピー体験		
評価	実技試験 筆記試験			
テキスト				
備考				

科目名	芸術と癒し	講 師	下田 美也子	単位数	1
				時間数	15
<p>科目目的 : 芸術や文化にふれ、人間の心身の相関について認識を深め、感性を磨き、創造力を高める。</p> <p>科目目標 : 音楽・芸術鑑賞をして、自己や他者を癒すことへの意味について考えられる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 芸術鑑賞	1) 観劇			
2回～7回	2. 創作活動	1) 合唱曲 (3部合唱) 2) 発表会			
評価	課題レポート				
テキスト					
備考	観劇鑑賞は時期により決める。				

科目名		講師	藤倉 四郎 他	単位数	1
地域とくらし				時間数	15
<p>科目目的：八王子市の歴史や文化、環境に関心を持ち、人々の暮らしや地域の特性を学ぶ。</p> <p>科目目標：地域医療に貢献するために地域のニーズや社会資源などの状況が理解できる。</p>					
講義回数	学 習 内 容				
1回	1. 八王子市の概要	1)歴史と市の沿革について			
2回	2. 八王子市の基本的な状況	1)人口動態 2)財政状況 3)まちづくり			
3～5回	3. 暮らしや医療の状況	1)福祉 2)健康と医療			
6回	4. 子どもや教育の状況	1)少子化対策 2)教育資源			
7回	5. 環境や産業の状況	1)環境対策 2)産業			
8回	6. 文化や芸術について	1)文化財の指定 2)特色ある芸術や芸能 「車人形」の鑑賞			
評価	課題レポート(車人形を鑑賞して)				
テキスト	1) 八王子市基礎データ集				
備考					